

平成 14 年 7 月 5 日

第11回「あなたと区長のホット・ほっと区民集会」開催

『新税構想』をテーマに区長と区民が熱い討論

4日(木)午後7時より、東部区民事務所(北大塚1-15-10)で、「新税構想」をテーマに「あなたと区長のホット・ほっと区民集会」が開催された。(参加者62名)

11回目の開催となる今回のテーマは、区が導入を目指している2つの新税構想「放置自転車等対策税」および「ワンルームマンション税」。新税構想については、前回・前々回にそれぞれの税を個別のテーマに同集会を開催し、定員を超える区民が参加し、熱い議論が展開された。今回は、導入に向けて、より多くの区民の理解と支持を広げていくため、地域に出向いての開催。

区からの概要説明に続き、高野之夫区長自らが進行役となり、区民との直接対話が進行された。会場近くの大塚駅前商店街からの参加者は、自転車利用者は撤去されても再度放置するなど、マナー向上の難しさを語り、駐輪場整備の必要性を切実に訴えた。また、ワンルームマンション税については、駆け込み建築が増える前に導入を早めて欲しいとの賛成意見、逆に新税が劣悪な建築物を建てる免罪符になることを危惧し、税導入よりも建築上の規制強化を求める声など、賛否両論さまざまな意見や提案が出された。

現在、新税構想については、学識経験者や区民、納税義務者等による「法定外税検討会議」で、導入の是非を含め多角的に議論を重ねているが、昨日の集会には検討会議のメンバー数人も参加し、区民の意見に熱心に耳を傾けていた。集会で区民から出された意見は、審議の参考にするため、全て検討会議に伝えられる。

2時間にわたる議論の最後に、区長は「新税の導入には賛成も反対もさまざまな意見があると思うが、このようにみんなで議論を重ねていくことが行政のあり方。地域住民と一緒に街づくり、ルールづくりをしていきたい。今日は勇気とあたたかい言葉、そしてたくさんの課題をいただきました」と述べた。

また、集会参加者に対してアンケートを行ったところ、放置自転車等対策税は導入に賛成73%、反対11%、ワンルームマンション税は賛成55%、反対9%であった。(アンケート結果の概要は別紙参照)

【主な意見・質問】

①放置自転車等対策税

- ・ 区境の駅では、駐輪場利用者は近隣区の住民の方が多い。他区に応分の負担を求めてはどうか。
- ・ 地域では、住民は最寄り駅と良好な関係を保ち協力関係にあるが、構想発表後、区は鉄道事業者と対立しているのか。
- ・ 放置自転車問題は、駅前に駐輪場を設置しない限り、根本的な解決にならない。また、利用者のマナーだけに頼るのは限界がある。放置自転車にも自動車の交通違反のようにペナルティをとるなり、自転車所有者全員に保有税をかけてはどうか。

②ワンルームマンション税

- ・ 新税構想は是非進めて欲しいが、税が免罪符となり建築抑制にならないこと、税が負担となる分、劣悪な建築物が増えることを懸念している。建築規制自体をもっと厳しくしなくては片手落ちになるのではないか。
- ・ 単身者増を逆に豊島区の特徴として、『23区中で単身者が最も住みやすい街』にしてはどうか。
- ・ 税の用途は、自転車置き場やごみ集積所などワンルームマンション整備にも向けて欲しい。
- ・ 単身者が多いという特徴を生かし、ファミリー層と共存できる方向性を考えて欲しい。

詳細：広報課長

【第11回あなたと区長のホット・ほっと区民集会 アンケート結果の概要】

参加者 62名 アンケート回答 44名 (回答率71%)

(1) 回答者の内訳

①性別 男35名 女9名

②住所 区内在住39名 区外4名 無記入1名

(2) 新税構想に対する賛否

①放置自転車対策税

賛成32名(73%) 反対5名(11%) その他6名(14%) 無記入1名(2%)

②ワンルームマンション税

賛成24名(55%) 反対4名(9%) その他10名(23%) 無記入6名(13%)

(3) 放置自転車等対策税に関する主な意見

① 賛成意見

- ・ 鉄道事業者の協力がなければ放置自転車は多くなるばかりで快適な街づくりはできない。特に障害者のためにも頑張ってほしい。
- ・ 区内美化、交通安全、災害防止、区民のマナー向上、区民の意識を高めることにもつながり、公共機関のあり方、区政の革新にもなっていくので賛成する。
- ・ 池袋駅周辺の放置自転車については日常の通行と災害時における混雑等を考えての対策により改善されることを希望する。
- ・ 駅前が放置自転車であふれている。鉄道事業者は再考すべきである。

② 反対意見

- ・ 本当に放置自転車が減らせるのか実効性が不明である。
- ・ 自転車を持っている人々のモラルが変化しない限り何も解決につながらないのではないかとと思う。
- ・ いきなり対策税を鉄道事業者に求めることは早急すぎる。用地の提供を含め負担金から始めるべきである。

③ その他の意見

- ・ 税をかける前に駐輪場の増設を検討し、その上で税をかければよい。JRとタイアップし、池袋～大塚～巣鴨～駒込間の線路の上の空間を利用して駐輪場を作ればよい。
- ・ 何らかの対応は必要と思うが、後付けで鉄道会社だけに税金をかけるのでは解決しない。

(4) ワンルームマンション税に関する主な意見

① 賛成意見

- ・ 税金を払えば堂々とワンルームを建てて良いという制度にならないよう建築計画における制約を厳しくする等の現実的な対応と合わせて政策を打ち出すべきである。
- ・ 住宅環境を“より住みやすくする”ためには地域の住むルールを守ることが大切である。
- ・ 自分勝手な行動をとる人はワンルームマンションの人が多いため、地に根を張る人達を多く住ませる努力が必要だ。

② 反対意見

- ・ むしろ指導要綱の強化のほうが良いのではないかとと思う。
- ・ 実用的かどうかという点で疑問がある。今後の単身者世帯の増加をストップさせるというのは行政の勝手ではないかと思う。

③ その他の意見

- ・ 単身・独身の若人が集まる豊島区の特徴を伸ばしてほしい。三世帯・四世代住宅は別途方策を捻出し、検討課題としたい。若い時に住めば家族を持ってもまた住みたくなる。
- ・ 常駐の管理人のいないような住宅の許可条件を厳しくし、管理の悪いマンション・アパートに罰則を設けることとする。
- ・ 税を設定するのもいいが抜け道が多すぎる。抜け道を止めた上で税を設定するべきである。